

# INVITATION

Ehime University Hospital [愛媛大学医学部附属病院広報誌]

VOL

69

2022

## NEW WAVE! 最新情報を発信し続ける愛大病院!!

DOCTOR'S VOICE 01 ITとデータサイエンス、そして人の温もりを

DOCTOR'S VOICE 02 四国での皮膚腫瘍臨床研究拠点整備と人材拡充に向けて

DOCTOR'S VOICE 03 承認する姿勢を大切に、人が育ちあう組織づくりへ

DOCTOR'S VOICE 04 住み慣れた地域での暮らしを支える医療



## 新任教授紹介

## ITとデータサイエンス、そして人の温もりを

整形外科学講座 教授 高尾正樹

私は専門分野である股関節外科に、データサイエンスを導入して疾患の病態解明や診断・治療に関する研究を大阪大学で行ってきました。手術数が増加している当院においても、継続して運動疾患に悩む患者さんへ適切な治療を全力で提供します。同時に人工関節センター（2014年開設）を発展的に継承し、医療情報部・放射線部・リハビリテーション部と連携してデータベースを構築し、整形外科の全領域におけるデータサイエンスを実現していきます。地域医療では当院を中心としたIT利用で効率的な地域医療ネットワークを確立し、広い医療圏を限られた人員で効率的にカバーすることを考えています。臨床研究でも県全体の関連病院と様々なテーマでの共同研究の推進や、診療データの集積のためのデータ入力様式の統一とビッグデータ化の促進を行います。整形外科学講座は開講して46年と活力のある段階です。働きやすい環境整備の下で、様々な人材を受け入れ、ともに高めあう講座を作ります。私はこれまでたくさんの仲間に恵まれてきました。これからも患者さんの立場に立ち、愛媛に根ざし、世界にも視線を向ける。そして医療と学術の充実した県として患者さんから選ばれ続ける存在になる。そのために一期一会を大切に仲間を増やし、夢と愛がある整形外科医療をここで挑戦したいと思っています。



## PROFILE

たかおまさき◎1998年大阪大学医学部卒業、2006年大阪大学大学院修了。大阪大学大学院医学系研究科で整形外科学や運動器医工学治療学を経て、2022年4月より現職。専門は股関節外科。趣味は小学生の息子とのマイクラフト、テニス、家族旅行、クラシック鑑賞。

## 新任教授紹介

## 四国での皮膚腫瘍臨床研究拠点整備と人材拡充に向けて

皮膚科学講座 教授 藤澤康弘

私は診療の傍ら臨床研究を続けてきました。メインテーマは皮膚がん。一例をあげますと「メラノーマ」と呼ばれる皮膚の悪性腫瘍は、日本人と白色系の人たちとは病気の傾向や有効な治療が異なる場合があります。メラノーマの治験は海外で行われることが多く、そこで得られた治療法や治療薬はそのままでは日本人に合わないこともあります。そのため国内の多くの大学と協力してデータを集め、日本人に適した治療を研究してきました。

当院は皮膚科と形成外科が一つの講座（皮膚科学講座）を構成しています。2つに分かれている場合は皮膚の悪性腫瘍をどちらか片方でしか扱いませんが、ここでは垣根なく協力して治療や研究ができます。四国には皮膚腫瘍の専門家が少なく、私の役割は大きいと思っています。同時に、愛媛県内も皮膚科の医師が十分とはいえません。学生や若手医師に皮膚科の魅力を伝えると同時に、多様な働き方を実現し、裾野を広くすることで、一人でも多くの皮膚科医を地域医療へと送り出します。皮膚科は女性医師が多い分野でもあるので、一人一人の状況に合わせたキャリアを築く体制も整えたいです。



## PROFILE

ふじさわやすひろ◎1998年筑波大学卒業、同大学臨床医学系皮膚科学教室入局。国立がんセンター中央病院や筑波大学附属病院の皮膚科で勤める。2018年筑波大学医学医療系皮膚科准教授となる。2022年5月より現職。趣味はゴルフ。

## 新看護部長の抱負

## 承認する姿勢を大切に、人が育ちあう組織づくりへ

看護部長 崎田智美

看護師の役割は、「療養上の世話」と「診療の補助」を介する看護実践の全てとなります。その中で、看護の技術と知恵を使い、最大限に患者さんの力を引き出すことが重要です。常に患者さんに一番近い存在である看護師が、患者さんの思いに寄り添い、支えになりたいものです。

医療は高度化・専門化が進み、患者さんも多くの情報から、自分の生き方に合わせ様々な選択をしながら治療に向き合っています。特に大切にしたいことはチームで患者さんを支えること、そして患者さんの「自分らしく生きること」を支え、常に看護の視点を忘れず、さまざまな意思決定を支援することです。また、チーム医療においては、看護職は多職種をつなぐ重要なマグネットピンとして連携・調整役割も期待されているところです。

看護部組織としては、前任の部長から「人が育ちあう組織」をめざしています。「やってみて言って聞かせてさせてみて、誉めてやらねば人は動かじ」山本五十六の言葉ですが、自身が役割モデルとなり、そして見守り、相手のできていることを承認する姿勢が重要です。互いを尊重し、成長しあう組織にしていきたいと思っています。



## PROFILE

さきたさとみ◎愛媛県出身。1987年 国立療養所高松病院附属看護学校卒業、同年当院へ入職。副看護師長、看護師長、副看護部長を経て、2022年4月より現職。趣味は、「おもてなし旅行」を計画し楽しませること、調理器具収集・料理。

## 寄附講座「難病・高齢医療学講座」の設置

## 住み慣れた地域での暮らしを支える医療

難病・高齢医療学講座 教授 越智博文

私の専門は多発性硬化症、視神経脊髄炎、重症筋無力症等を含む免疫性神経難病という領域です。それらの疾患の免疫遺伝学的背景や、それによる患者さんの経過、疾患の多様性との関係を研究してきました。2011年に愛媛大学に赴任して以降は、アルツハイマー型認知症やパーキンソン病といった神経変性疾患にも対象を広げて研究をしています。

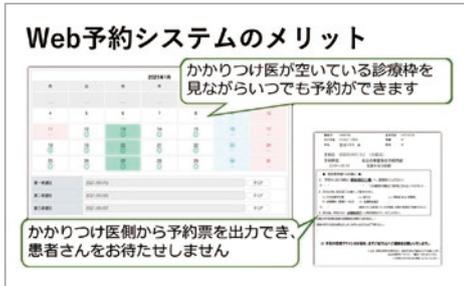
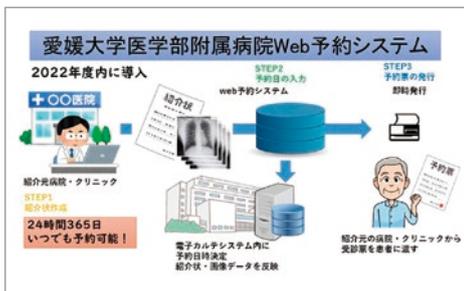
今回の寄附講座は新居浜市による寄附と、十全総合病院や新居浜市医師会の先生方の協力で開かれました。現在は、サテライトセンターである十全総合病院で、私が週に2回の脳神経内科外来、檜垣彰典先生が週1回の循環器内科外来での診療を行っています。今後は、大学の脳神経内科・老年医学講座、循環器・呼吸器・腎高血圧内科学（第二内科）と協力し、私たちに続く世代を育成し、新居浜・西条医療圏の地域診療を支えたいと考えています。今後の地域医療で求められることは、診断・治療がその地域で完結するだけでなく、患者さんとその家族の暮らしを支えることです。地域の中で医師が、保健所や地域包括支援センター、訪問看護ステーション、介護施設の方々と密に連携し、患者さんの治療やリハビリ、生活を支援する医療を目指します。



## PROFILE

おちひろふみ◎愛媛県出身。2000年に九州大学にて博士（医学）を取得。2011年から愛媛大学大学院医学系研究科の加齢制御内科学の講師として着任。老年・神経・総合診療内科学の講師、准教授を経て、2022年6月より現職。趣味は旅行、コロナ禍が収まれば北歐へ。

# TOPICS



## 愛媛大学医学部附属病院がWEB予約システムを導入

愛媛大学医学部附属病院では、FAXによる事前予約の対応件数が年々増加していることを踏まえ、短時間による円滑な受診予約のために、2022年度よりWEBを活用した予約システムを導入します。一部の診療科から開始し、年度内に徐々に対象診療科を拡大する予定です。



## 第81回ヘルスアカデミーを対面にて開催

令和4年6月12日(日)、第81回ヘルスアカデミー「知ってて良かった! 心不全」をいよつ高島屋9階ローズホールにて約2年ぶりに対面開催しました。循環器内科の6人の講師が、参加者の理解を深めました。ヘルスアカデミーは今後も、地域の皆さんが気になるテーマを取り上げ、お届けしてまいります。

## 令和4年度より 新任の病院長補佐のご紹介

令和4年度から令和6年度まで、新たに4名の病院長補佐が配置されます。

- 病院再開発担当  
循環器・呼吸器・腎高血圧内科学講座  
山口 修 教授
- 医療情報担当 医療情報学講座  
木村映善 教授
- 感染症担当  
感染制御部 田内久道 部長
- チーム医療推進担当  
消化器腫瘍外科 古賀繁宏 講師

## 不妊専門相談センターを開設

この度、愛媛大学医学部附属病院が愛媛県からの委託を受け、「不妊専門相談センター」を開設しました。毎週水曜日(祝日・年末年始を除く)13時30分から16時30分に、電話・面接・メールにて、不妊や不育症に関する検査や治療などの医学的な相談に、専門医、不妊症看護認定看護師がお答えします。詳細はQRコードからご確認ください。



## ボランティアいきいき会 感謝状贈呈式を実施

令和4年6月17日(金)、ボランティアいきいき会の感謝状贈呈式を開催し、活動員及び職員約30人が参加しました。いきいき会は、医学部附属病院の医療関係者と協力して、患者さんが少しでも快適な環境で安心して治療を受けることができるように、病院でボランティア活動を行っています。今回、ボランティアとしての活動時間が多大であり、環境美化活動(病院構内の除草、清掃)など、当院へご貢献いただいた8人の活動員のみなさんに感謝状を贈呈しました。今後もいきいき会と協力して日々の活動に励んでいきます。

令和5年9月29日に  
医学部は創立50周年を  
迎えます。

医学部創立50周年記念WEB  
サイトはこちらからご覧ください。

- 記念のご挨拶
  - 寄附のお願い 等
- 順次更新予定です。



医学部創立50周年記念ロゴマーク

## 編集後記

Dr. 杉ちゃんこと杉山隆病院長が表紙の本号では、新しいポジションに就かれたスタッフをご紹介します。皆様の力強いお言葉に、当院に期待されている高度先進医療の実践や地域医療との連携に加え、マグネットホスピタルとしての役割も強化される予感がしました。トピックスではWEB予約システムと医学部創立50周年について触れました。

広報委員会委員長  
熊木天児



## 今月の表紙

Dr. 杉ちゃんのウィークエンドクリニック  
(FM愛媛、毎週土曜17:30~18:00放送)  
の収録にて  
病院長 杉山 隆  
医化学・細胞生物学講座 教授 金川 基  
FM愛媛パーソナリティ 吉見まき子

